

# 平成28年度 赤穂市立塩屋小学校 学校関係者評価

学校名 赤穂市立塩屋小学校

## 1 本年度の学校経営方針

### (1) 教育目標

ともに学び、仲よく遊ぶ児童を育てる ～自ら考え、学び合い、希望を高く～

### (2) 校訓

【明く】

【清く】

【強く】

#### めざす学校像

- 1 保護者、地域とともに歩む学校
- 2 安全・安心の保障された学校
- 3 環境が整備されたうるおいのある学校

#### めざす児童像

- 1 あいさつができ、友とわかり合う子
- 2 真剣なまなざしで学習にのぞむ子
- 3 健康で明るく元気に遊ぶ子

#### めざす授業像

- 1 児童全員が主体的に参加する授業
- 2 児童同士の関わり合い、学び合いがある授業
- 3 言語活動を通して、伝え合う力を高める授業

#### 求める教師像

- 1 とことん児童に関わり続ける教師
- 2 常に授業の向上を目指す教師
- 3 児童の人権を大切にす教師

### (3) 学校経営の基盤とするもの

- ・児童のよさや可能性を伸ばさせ、自己肯定感や自己有用感を高揚させる指導の充実を図る。
- ・すべての児童に基礎・基本の徹底を図り、主体的に学び続けるための指導方法の工夫改善を図る。
- ・児童が安全で安心して生活できる校内体制整備と充実を図る。
- ・保護者・地域とともに歩む学校づくりを進める。
- ・すべての教職員が、職業人としての自己の成長を感じつつ、充実感を味わい、塩屋小の一員であることが誇れるような「働きがいのある学校」を目指す。

### (4) 重点課題

#### ① 保護者・地域と連携した教育の推進

- ・保護者・地域住民の学校運営への参画
- ・学習成果の発信
- ・学校評価、保護者アンケートの教育活動への反映
- ・ふるさと意識の醸成

#### ③ 配慮を要する児童への対応

- ・児童の内面理解
- ・実態に応じた支援・指導の計画
- ・保護者との意思疎通
- ・常に「気かけ」「目をかける」意識

#### ⑤ 児童の規範意識・マナーの向上

- ・きまりを守ろうとする意識
- ・公共物や施設を大切にす態度
- ・相手を大切にす言葉遣い
- ・行儀・礼儀の指導
- ・自転車使用時のヘルメット着用

#### ⑦ いじめ・不登校の解消

- ・第三者委員会最終提言の実践
- ・未然防止のための取組
- ・早期発見・早期対応・組織としての対応
- ・家庭との連携指導
- ・情報モラル教育の推進

#### ② 授業力の向上(アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善)

- ・授業のスタンダード化(授業公開ウィークの実施)
- ・全員が意欲を持って参加できる授業づくり
- ・学び合いのある授業づくり
- ・考えが深まる授業づくり

#### ④ 特別支援教育の充実

- ・職員の理解と実践力の向上
- ・校内指導・支援体制の確立
- ・関係機関との連携による支援体制と支援方法の研究・実践
- ・保護者・地域への啓発

#### ⑥ 危機管理意識・管理体制の確立

- ・安全配慮義務の徹底
- ・防災体制・防災意識
- ・地域安全体制の確立
- ・食物アレルギーへの理解と対応の体制
- ・対応マニュアルの見直し

#### ⑧ 学校組織力の向上・学校業務改善

- ・教育目標・重点課題の共有化
- ・学校評価を活用した学校運営
- ・職員の協働体制、成果の共有化
- ・学校業務の工夫改善  
(子どもと向き合う時間の確保、メンタルヘルスの保持・増進)

### 【総合的な学校関係者評価】

- 重点課題として保護者との意思疎通があげられる。いつ、どこで、だれがそれをするのかを明確にされた。参観日や地区懇談会などを計画されているが、限られた時間の中で保護者との本音での話し合いができるのか考える必要があるのではないかと。
- 児童の規範意識、マナーの向上について、きまりを守ろうとする意識、公共物や施設を大切にす態度が、地域として問題であるように感じている。
- 児童の規範意識について、登校する時2列隊形で前後に高学年が歩くことを指導するように各子供会の役員にお知らせしたい。
- 子ども達の挨拶は元気よく、明るいと感じている。色々な行事にどの子どもも一生懸命であるし、本当に感動させられた。反面、保護者の方の先生方や地域の方への態度を改めてほしいと思うことが何度かあった。
- 地域の未来を託す子ども達を育てる責任は、学校を取り巻く地域社会にあると考える。それゆえに学校・家庭・地域が同じ情報を共有することが必要であると考える。
- 朝の挨拶はどこであっても子ども達から「おはようございます」とかえってくる。大人達が「おかえり」の挨拶ができるように心がけたい。
- 公園で遊んでいる子ども達のボールが屋敷内に飛び込んでくることあるが、玄関から「すみません。ボールが入ったので取らせてください。」と言って入ってくるようになった。次年度は運動会が5月に予定されている。1年生は入学して1か月での運動会となるので、教える先生方が大変だと思うが、よろしく願いたい。
- 保護者(特に父親)と先生方との協力関係の強化を図り、もっと学校に関心をもってもらおうと思う。地域との連携は良くなっていると思う。
- 子ども達の体力について、勉強も大切ですが体が資本である。体力作りの方法について検討をよろしく願いたい。
- 先生方の入れ替わりに伴い、共同作業等での関係性が保てなくなることが少し心配である。
- 学校関係での指導の方向性は十分だと感じている。あと、各家庭や地域での問題が色々発生すると思うが、それが学校へ向いた時の対応を願いたい。

【学校関係者評価】

◎:適切である ○:ほぼ適切である △:あまり適切ではない ×:適切ではない

2 自己評価結果 (A~D) A:達成した B:ほぼ達成した C:あまり達成できなかった D:達成できなかった

| 観点<br>(実践の柱) | 評価項目(学校・教師の取組) |  | 評価資料等                  | 達成状況 | 改善の方策  |
|--------------|----------------|--|------------------------|------|--|
|              | 項目             | 評価指標及び目標値(期待される児童の姿)   |                        |      |  |
| ①保護者・地域との連携  | 項目             | 児童の主体的な学びを尊重し、生涯学習社会を見据えた学校づくりに努めることができたか                          | 児童アンケート<br>入学式 学級懇談会   | A    | ○児童アンケートの結果からも「学校に来ることが楽しい」と答えている児童が98.4%と数値は高かった。その反面、「いいえ」と答えた児童にも目をかけ、声かけや関わりを全職員がもつ必要がある。                          |
|              | 指標             | 毎日楽しく学校に来ている   | 保護者アンケート               |      |  |
|              | 項目             | 各通信・オープンスクール・ホームページなどで情報を提供したり、保護者からの相談を受けたりすることができる開かれた学校づくりに努めたか | 児童アンケート                | B    | ○学校、学年、学級だよりを通じて学校の様子を伝えていることが保護者・地域の方の理解につながっている。今後も保護者・地域とのよりよい関係作りに継続して努める。<br>○ホームページを定期的に更新することで、更なる開かれた学校作りを目指す。 |
|              | 指標             | 忘れ物をせず、準備物がそろう   | 保護者アンケート               |      |  |
|              | 項目             | 学びの機会を充実するとともに、家庭と連携して学習習慣を身につけるように工夫したか                           | 児童アンケート<br>学級懇談会 個別懇談会 | A    | ○家庭学習のあり方(方法・量・内容など)を吟味した上で、児童が主体的に家庭学習を行えるように学級活動などを通して指導し、全職員共通理解のもと、家庭での学習習慣を確立させ学力向上を目指す。                          |
|              | 指標             | 家庭学習を家庭でこなし、きちんと提出している   | 保護者アンケート               |      |  |
| ②確かな学力       | 項目             | 児童の実態に応じた学習課題を設定し、意欲を持って、自ら学び、自ら考える力を育成するように努めたか                   | 児童アンケート<br>学級懇談会       | A    | ○児童同士の関わりを全教科・領域において積極的に図り、児童が互いに支え合い、認め合える、分からないことが分からないと伝えられるような主体的・対話的な学びの形へと近づけるよう心がける。                            |
|              | 指標             | 学校の勉強が楽しく分かりやすいと感じている  | 保護者アンケート               |      |  |
|              | 項目             | 基礎・基本的な内容を明確にし、評価の基準を定め、指導方法を工夫改善して理解の徹底を図ったか                      | 児童アンケート<br>学力テスト等      | A    | ○勉強が分かることが学習意欲向上につながるので、まず、児童がどこでつまづいているのか実態を把握し、児童の興味・関心に合わせた教材を工夫し、スモールステップで達成感を味わわせながら意欲的に学習に取り組めるようにする。            |
|              | 指標             | 学習内容を目当てに沿ってまとめたり発表したりすることができる                                     | 保護者アンケート               |      |  |
|              | 項目             | 家庭学習の定着及び充実を図ることができたか  | 児童アンケート                | B    | ○家庭学習における自己の課題をつかみ、解決策を探り、自分にあったよりよい家庭学習の仕方を自己決定するなど、家庭学習について考え、実行できるようにしていく。  |
|              | 指標             | 学年相応の漢字・計算を確実にこなすことができている  | 保護者アンケート               |      |  |
| ③健やかな体       | 項目             | 「早寝・早起き・朝ごはん運動」を推進し、子ども達に声かけ等の働きかけをすることができたか                       | 児童アンケート<br>学級懇談会       | B    | ○児童アンケートにおいて「健やかな体＝生活リズム」に関する項目は数値が低くなっている。アンケート等を活用し児童の実態調査を行うとともに、養護教諭とも連携しながら学活等の時間を活用し、指導を行うようにする。                 |
|              | 指標             | 「早寝・早起き・朝ごはん運動」の目標を設定し、守っている                                       | 保護者アンケート               |      |  |
|              | 項目             | 望ましい食習慣を養う一助となるよう、給食の時間の充実を図ることができたか                               | 児童アンケート<br>保護者アンケート    | B    | ○まずは児童一人一人が食べられる量を設定し完食できることをスタンダードとし、学級でルールを定めたり食の意味を保健・学活等において指導したりすることで、嫌いなメニューを少なくしていけるようにする。                      |
|              | 指標             | 落ち着いた雰囲気の中で給食を食べている(準備・片づけ含む)                                      |                        |      |  |
|              | 項目             | 一人一人の体力・運動能力の向上を目指し、外遊びを奨励したり、体育の時間の充実を図ることができたか                   | 児童アンケート<br>個別の指導計画     | B    | ○「外で遊ぼうday」を徹底できるよう、学年学級での声かけを行うとともに、休み時間を十分に確保し、外遊びのしやすい環境作りに努める。<br>○次年度も体育担当による体育授業の実技講習を積極的に行い、教員の資質向上に努める。        |
|              | 指標             | 外で元気に遊んでいる   | 保護者アンケート               |      |  |

| 自己評価は適切か | 改善方策は適切か | 課題と次年度具体的改善方法   |
|----------|----------|---|
| ◎        | ◎        | ・児童アンケートにおいて「学校にくることが楽しい」との数値が高いということは、友達や先生としっかりと絆でつながっていることがうかがえるので、このことを大切にしていただければと思う。<br>・オープンスクール等、昼間にあるために共働きであるから参加しにくい家庭もある。土曜日の活用方法を考えてみてよいのでは。<br>・忘れ物に関しては、寝る前にもう一度点検をするということをきちんと身につけさせる必要があると思う。            |
| ◎        | ◎        | ・「学校にくることが楽しい」と多くの児童がアンケートに答えていることから、児童の能力に合わせた学習内容で指導されていると推察される。この状況を継続していただければと思う。<br>・家庭学習については保護者の責任であると考え。  |
| ○        | ◎        | ・児童において、一日の始まりであり体のリズムの起動となる「早起き・朝ごはん」はとても重要だと思う。また、朝の起動を促す「早寝」の習慣をつけることも大事なことと考える。<br>・冬のマラソン大会に向けて、運動場での遊び方の提案を、先生方から児童にきちんとしていく必要があるのではないかと。<br>・「就寝時間を学年ごとに定める」ということを推進してみようか。<br>・1週間に1回でも、休み時間にソーラン踊りを全校児童で踊ってみようか。 |

(A～D) A:達成した B:ほぼ達成した C:あまり達成できなかった D:達成できなかった

| 観点<br>(実践の柱)  | 評価項目(学校・教師の取組) |  | 評価資料等                            | 達成状況 | 改善の方策  |
|---------------|----------------|--|----------------------------------|------|--|
|               | 項目             | 指標   |                                  |      |  |
| ④豊かな心         | 項目             | 児童一人一人の実態を的確に捉え、全職員で共通理解して適切な指導を行うことができたか                                  | 児童アンケート<br>保護者アンケート              | A    | ○教育支援委員会など各種委員会を定期的に行うことで、児童に寄り添う指導を行う。                                      |
|               | 指標             | 困ったことを相談することができる   |                                  |      |  |
|               | 項目             | 人権教育を全教育活動に位置づけ、差別や偏見を解消するため実践力を培うよう努めたか                                   | 児童アンケート<br>保護者アンケート              | A    | ○特別活動の充実によって、多様な人との関わりを通して人権感覚の育成に努める。                                       |
|               | 指標             | 友達の良さががんばりを見つけ、広めようとしている   |                                  |      |  |
|               | 項目             | 全ての教育活動の中で道徳性を培うように配慮し、道徳的実践力を育成するように努めたか                                  | 児童アンケート<br>保護者アンケート              | B    | ○道徳教育の教科化に備えて、授業改善、授業研修の機会をもち、教職員の指導力向上を図る。                                  |
|               | 指標             | 道徳の時間で学んだ価値を、生活の中でいかそうとしている  |                                  |      |  |
| ⑤生徒指導         | 項目             | 学級活動や学校行事に進んで参加し、学級や学校の諸問題の解決に努めるように指導したか                                  | 児童アンケート<br>運動会・音楽会<br>保護者アンケート   | A    | ○支持的風土のある学級作り、個の問題を全体の問題と捉え解決を図ることで、児童の意識を高められるよう努める。                        |
|               | 指標             | 自分達の諸問題を理解し、自分達で解決しようとしている   |                                  |      |  |
|               | 項目             | 児童の実態を的確に把握し、生徒指導上の問題行動等を未然に防ぐよう働きかけるとともに、問題行動発生時には、適切に対応できたか              | 児童アンケート<br>学級懇談会<br>保護者アンケート     | A    | ○学校のきまりや約束など、生活指導委員会を中心にその時期に応じた内容を話し合い、全職員共通理解のもと継続して指導にあたる。                |
|               | 指標             | きまりを守り、正しい生活を心がけている  |                                  |      |  |
|               | 項目             | 不登校に係る諸問題について、未然防止、早期発見、早期対応するとともに、早期解消に向け、保護者等との連絡を密にししながら、計画的に支援・指導ができたか | 児童アンケート<br>保護者アンケート<br>学校生活アンケート | A    | ○不登校の未然防止に努めるために、不登校・児童虐待対策委員会の更なる充実を図る。                                     |
|               | 指標             | 困っている友達に関わろうとしている  |                                  |      |  |
| ⑥児童をとりまく環境の整備 | 項目             | 道徳性の向上と規範意識の醸成に向けて、計画的に指導できたか  | 児童アンケート<br>保護者アンケート              | B    | ○道徳の授業の基本形をどの教師も実践できるよう研修を行い、週1時間の道徳の時間を確実に確保できるように努める。                      |
|               | 指標             | 物事の善し悪しについて理解し、言動に表している  |                                  |      |  |
|               | 項目             | 危険箇所、危険物の除去・改修等に心がけ、清潔で衛生的な環境整備に努めたか                                       | 児童アンケート<br>保護者アンケート              | A    | ○毎月の安全点検を教職員が分担して行い、児童にとって危険な箇所を速やかに営繕できるように来年度も継続して行う。                      |
|               | 指標             | 生活目標をきちんと守って生活している   |                                  |      |  |
|               | 項目             | 教育活動を充実させるための教育的環境の整備に配慮し、研修内容を実践に活かし取り組んだか                                | 児童アンケート<br>保護者アンケート              | A    | ○生活指導委員会等において無言で最後まで一生懸命掃除をすることを目標に掲げ、掃除力向上に努めてきた結果、確実に成果が現れているので、継続した取組を行う。 |
|               | 指標             | 掃除をすることの意義を理解し、美しい環境を保っている   |                                  |      |  |
|               | 項目             | 友達を尊重した呼び方をし、相手への嘲笑や侮辱、厳しい非難の言葉を解消するよう指導できたか                               | 児童アンケート<br>保護者アンケート              | A    | ○継続的な呼びかけにより、友達を大切にしたい児童同士の声かけや関わりが定着してきている。引き続き、教職員が共通理解して指導していく必要がある。      |
|               | 指標             | 友達を大切にしたい呼び方をしている  |                                  |      |  |

◎:適切である ○:ほぼ適切である △:あまり適切ではない ×:適切ではない

| 自己評価は適切か | 改善方策は適切か | 課題と次年度具体的改善方法   |
|----------|----------|---|
| ◎        | ◎        | ・児童各人の心の中の思いを引き出すことは現実的にはとても難しいことだと思うが、友達の頑張りや良さを認め、困っていることがあればみんなで共有し、解決に向けての努力をしていければと思う。   |
| ◎        | ◎        | ・児童の行動及び実態の把握に努め、学級懇談会等で伝達していくことが必要だと思う。問題行動を起こす前の「小さな芽」の発見に努めるよう、学校・家庭そして地域の協力の輪を広げていければと思う。<br>・友達の大切さや自分の力で生きていかなければならないということ、中学生になるという自覚など、より具体的に児童の意識向上に努める必要があると思う。 |
| ◎        | ◎        | ・子ども達は大人の行動に対して敏感に反応します。友達感覚で接することもよいですが、時として親として教師としての毅然とした態度を見せることも必要ではないか。   |

【自己評価における特記事項】

※達成状況の評価は、下記のA・B・C・Dで自己点検を行い、ポイントに換算し、教職員数で平均している。

A:達成した…4ポイント B:ほぼ達成した…3ポイント C:あまり達成できなかった…2ポイント D:達成できなかった…1ポイント

※職務内容が異なることから、評価項目全て当てはまるとは限らない。また、最終的に「児童アンケート」「保護者アンケート」を考慮した上で、達成状況の評価を決定している。

【項目以外の点で次年度の課題や具体的改善方法】

○学校行事の精選を行うことで、学力向上に向けたじっくり学習に取り組む時間の確保。  
○来年度に引き継ぐ、つなぐことを考えた校務分掌の運営、学級学年経営をしてくことが大切。